

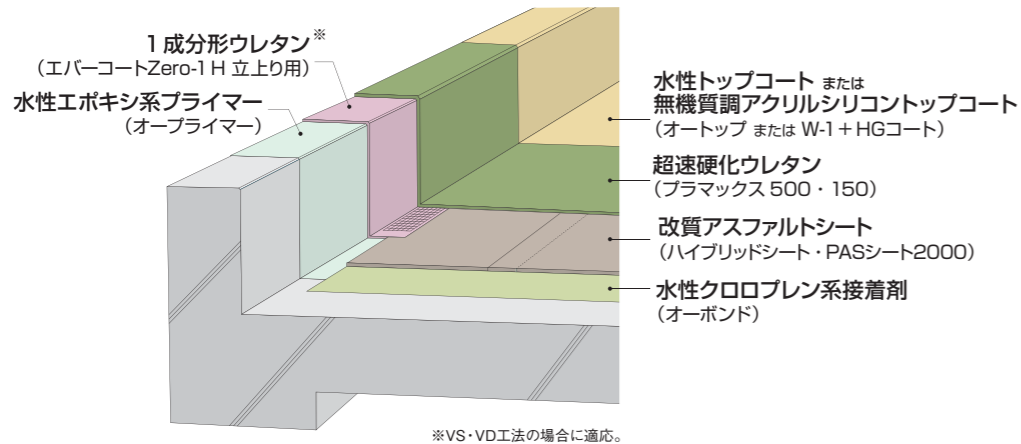
ダイフレックスの長期保証工法『バリューズ防水層品質管理システム』



建築の高耐久・長寿命化が求められる現在、見えない部位の透明性は重要なファクターといえます。私たちダイフレックスでは、建築防水の視点からオーナー様や施主様に確かな信頼をお約束します。

バリューズ工法は、その特長である「防水層品質管理システム」に裏付けされた信頼性の高い防水層により、施工後の長期保証を実現しました。中でもVD工法においては10年毎のトップコートの塗替えにより30年保証できます。そのため、ライフサイクルコストを大幅に低減することが可能です。最高峰の防水層により建物の維持管理に一層の安心感が生まれます。

■ 工法の構成と種類



VS工法 15年間のメンテナンスフリー※工法



非破壊式膜厚検査とピンホール検査を実施しメンテナンスフリーで15年間保証。
再改修までの期間が従来より大幅に延長できます。

※ここでいうメンテナンスとは、トップコートの塗り替え工事を指します。
メンテナンスフリーとは、保証期間内のトップコートの塗り替えを条件としていないことを意味します。

VD工法 次世代へと建物を継承する長期30年保証工法



非破壊式膜厚検査とピンホール検査はもちろんのこと、流量管理、定期点検を加え、施工後30年の長期にわたって品質を保証するVD工法。
長期保証の実現により、建物の維持保全にかかるライフサイクルコストを大幅に低減することが可能となります。
大切な資産を長期的に守り、その価値を次世代へ継承する万全のハイグレードな防水工法です。

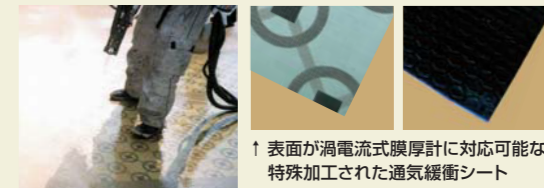
■ バリューズ工法の特長

① 機械化施工



強度の高い防水層を形成できるほか、混合攪拌不足のようなヒューマンエラーも起こしません。また、吐出量が計測できる点も優れています。

② 目視確認



濃淡模様をデザインしたシートに透明性のある「ブラマックス」を吹付けることで、吹付け施工中の透け具合を目安に膜厚の均一化が図れます。

③ ピンホール検査



特殊加工されているシートに反応し、施工面の小さなピンホールも検出することができます。更なる安心とラクラク管理を実現します。

④ 非破壊式膜厚検査



シートに特殊加工が施されているため、ウレタン防水材料の硬化後、非破壊式膜厚計を用いて膜厚が確保できているか確認できます。

⑤ 定期点検



定期点検を行うことでより安心できます。また、万が一の不具合も定期的に点検を行うことで早期発見することが可能です。

■ 一般防水改修工法とバリューズ工法のライフサイクルコスト比較

